

東海医療科学専門学校 学校自己点検・評価表

評価対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

実施日：令和5年5月10日

1. 学校の教育目標

- 1.日本で一番仲間に敬意を払う
- 2.日本で一番学生に寄り添う
- 3.日本で一番国家試験合格に導く

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1.教育目標に掲げた「私たちが大切にすること」(クレド)を周知し取り組む
- 2.教育の質の向上(アクティブラーニング、ハンドブック委員会、学年別担任懇話会含む)
- 3.基礎学力向上
- 4.学生に志を立てさせる

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
1-2	学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	2
1-3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	3
1-4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
1-7	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	3
1-8	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4

① 課題

教育理念・目的・育成人材像は明確に定め周知しているが、昨年度の卒業生アンケートで学生の認知度は十分ではないことが判明した。

学生と教員と法人が教育理念に基づく価値を共有し、より効果的な教育実践をすることが求められる。

② 今後の改善方策

昨年度1年間かけて、教育理念に基づく教員の行動規範と学生へに求める行動規範の策定した。

今年度はこの行動規範をボトムアップのクレドと表現し、推進委員会を組織して定着を図る。

③ 特記事項

各学科が職業に特化した志や連帯感を育む行事を企画する。

(新入生オリエンテーション旅行、卒業生交流会・上級生交流会・他学科交流会、全学園スポーツ大会、セムイ学園際等)

2 学校運営		適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1
2-1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	3
2-3	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	4
2-4	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)が開催されているか	4
2-5	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
2-6	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか	4
2-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
2-8	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を受講させているか	4
2-9	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	3
2-10	給与に関する制度を整備しているか	4

① 課題

情報システム化による業務の効率化についてはペーパーレスの観点からもジョブカンを令和5年1月から試行導入している。勤怠については4月からスタートしているが定着までには時間を要することになるが慣れれば効率化に寄与する。

② 今後の改善方策

ジョブカンによるワークフローと勤怠管理の円滑な運用と定着を図るため個別対応やFAQを定適更新していく。

③ 特記事項

特になし

3 教育活動		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
3-1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。	4
3-2	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4
3-3	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4
3-4	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4
3-5	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	4
3-6	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	4
3-7	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	4
3-8	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	3
3-9	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	3
3-10	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3-11	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4
3-12	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	4
3-13	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	4
3-14	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	4

① 課題

授業評価については各科目終了時にアンケートを実施しているが、オンラインでの回答のため回答率が科目によって異なってしまう場合がある。

② 今後の改善方策

スマートフォンで回答ができるシステムだが、各自の時間ではなく、教室で全員で一斉に各自のスマートフォンで回答してもらうことによって回答率を高め、均一化する。

③ 特記事項

特になし

4 学修成果・教育成果		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
4-1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4
4-2	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)	4
4-3	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	4
4-4	国家試験結果に関して検証・報告がされたか	4
4-5	国家試験結果(合格者数・合格率)を公表しているか	4
4-6	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	2

① 課題

卒業後に就職就職活動を行う学生との連絡が希薄になることがある。
卒業後の活躍についての把握が難しいことと活躍の評価の基準が明確でない。

② 今後の改善方策

卒業生から連絡がなくても学校側より定期的に連絡を行うことが重要と考える。
卒業後の活躍については、学科教員、渉外室とも連携をとり就職内定先に出向き情報収集を行う。

③ 特記事項

特になし

5 学生支援		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
5-1	学生への修学支援を適切に行っているか	4
5-2	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	4
5-3	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	4
5-4	学生の面談・相談記録があるか	4
5-5	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
5-6	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	4
5-7	退学率の低減が図られているか(出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	3
5-8	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	3
5-9	退学者数を公表しているか	4

5-10	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	4
5-11	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか	4
5-12	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	3
5-13	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	3

① 課題

退学者数については、例年、前年度の数字を下回ることを目標として取り組んでいるが、多様な理由による退学者がおり、対応が後手に回ってしまうケースも少なくない状況である。

卒業生への卒業教育の体制については、各学科で同窓会を組織しており、卒業生が勉強・研修できる環境は整っているが、コロナの影響もあり予定通りに行えていない状況がある。

② 今後の改善方策

退学率の低下については、年度内の各学科での退学者の理由、時期などを記録し分析している。

学力不足や人間関係、モチベーションの低下などの理由に対しては、それぞれ「個別の補習」、「遠足やレクリエーションを通しての帰属意識の向上」、といった取り組みを行っている。

新入生については入学後に「基礎力リサーチ」を実施し、学力面やモチベーション面で退学の危険が高い学生を早期に把握するようにしている。

卒業教育については、オンラインや動画配信も使用しながら行っていく。

③ 特記事項

特になし

6 教育環境		適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1
6-1	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4
6-2	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	4
6-3	学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-4	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
6-5	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	4
6-6	定期的に防災訓練を実施しているか	3

① 課題

危機管理マニュアルの整備

防災訓練実施要項の整備

② 今後の改善方策

職員向けの防災訓練を行う予定
危機管理マニュアルの策定

① 特記事項

特になし

7 学生の受入れ募集		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
7-1	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	4
7-2	学校説明会等による情報提供(育成人材像、、目指す資格、学費・教材費等の情報)を行っているか	4
7-3	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	3
7-4	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	3
7-5	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	4
7-6	学納金は妥当なものとなっているか	4
7-7	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4

① 課題

コロナ禍の影響もあり、訪問などによる高等学校との接触の機会が減少し、高等学校への本学の魅力や特色を十分に伝えることができていない。また、卒業生調査により在校生に本学の理念が十分に浸透していない事実が浮き彫りになっている。

② 今後の改善方策

新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、の感染法上の位置づけが引き下げるなど環境が整いつつあることから、訪問による高等学校への情報提供により卒業生の国家試験や就職などの実績をアピールするとともに、在校生による母校訪問を再開することで、学生目線での本学の情報を高等学校へ届ける努力をする。また、学校ホームページを見直し、学園の理念を分かり易く紹介する。

③ 特記事項

特になし

8 教育の内部質保証システム		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
8-1	養成施設指定規則等の遵守と適正な運営がなされているか	4
8-2	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	4
8-3	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3
8-4	個人情報保護規程が文書化されているか	4
8-5	自己点検・評価の組織があるか	4
8-6	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	4
8-7	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4
8-8	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4
8-9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
8-10	自己評価結果を公開しているか	4
8-11	学校関係者評価結果を公表しているか	4

① 課題

・学校関係者評価において明らかに問題点を教職員で共有し改善に取り組んでいるが、改善状況や改善をPDCA サイクルの中に位置づけて、共有するには至っていない。

② 今後の改善方策

・自己点検・評価の実施は学校運営の改善に必要であり、学校運営に資するものとなるよう取り組むものであるが、実現可能な事項から順次取り組んでゆく。

③ 特記事項

特になし

9 財務		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
9-1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4
9-2	年度予算・中期計画が策定されているか	3
9-3	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
9-4	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3
9-5	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	4
9-6	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4
9-7	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	4

① 課題

予算の執行状況については4半期ごとに分析しているが項目により予算外の支出があることがある。

② 今後の改善方策

臨時案件について財務面での中長期計画を策定した上での判断をするようにする。引き続き、計画的な学園ごとの建物の補修工事の策定が必要である。

③ 特記事項

特になし

10 社会貢献・地域貢献		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
10-3	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

① 課題

学校施設の活用について案内をどのようにPRを行っていくか。

② 今後の改善方策

ホームページなどにより学校施設の活用をしてもらうようPRを行う。

③ 特記事項

特になし